

宮崎演習林に生息する生物データベースの構築

九州大学宮崎演習林 鍛冶清弘

1. はじめに

地球上には様々な生物が存在しており、現在まで 190 万種以上が確認されている。今もなお数多くの新種が発見され、実際の種数は 800 万種以上とも考えられています。我が国においては 9 万種以上の生物が確認されている。しかし、一方では、人為による環境の改変により、個体数が減少し絶滅の危機にある種も少なくない。また、近年の地球温暖化などの環境変動に応じて生息地に変化が見られる種もある。このような状況を把握するため、生物データベースは貴重なデータである。宮崎演習林では教育・試験研究用資材としてのデータ提供を目的とし、生物データベースの構築を実施しているので紹介する。

2. 調査方法及びデータベース作成

2007 年より、演習林内及びその近傍に生息する生物を対象に、目撃することの出来た生物の写真をデジカメで撮影した。昼間目撃することが困難な動物には林内にセンサーカメラを設置し撮影を試みた。また、一部の昆虫に関してはライトトラップ法（図 1）等の採取方法により採取し、標本の作製（図 2）も実施している。撮影及び採取した生物は図鑑やインターネット検索により種を同定し、生物データベース（図 3）へ目撃・採集月日、和名・学名等の詳細を入力した。



図 1. ライトトラップ



図 2. 標本作製

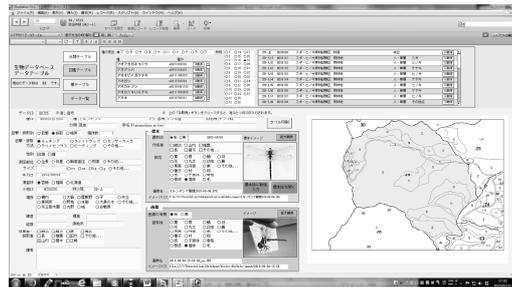


図 3. 生物データベース

3. 結果

結果を表 1 に示す。調査開始から現在まで 1,870 種の生物を確認することができた。中には大変貴重な種や外来種の存在（図 4～6）も確認することができた。収集データには個々の興味のある生物に偏る傾向があるが、職員一人一人がより関心を高め生物データ収集に努めることが重要である。今後も調査を継続させ、教育・試験研究利用を目的とした生物データベースの構築を目指していく。尚、これまで得られたデータは宮崎演習林の HP でも画像の公開をしている。

分類別	種数
植物	418
菌類	91
哺乳類	20
鳥類	68
魚類	3
爬虫類	11
両生類	10
昆虫	1229
その他	20
計	1870

表 1. 分類別調査結果



図 4. ツクシワジン
(県) 絶滅危惧 IA 類



図 5. ニホンモモンガ
(県) 絶滅危惧 IB 類



図 6. アライグマ
特定外来生物